

**This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- **BLACK BORDERS**
- **TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- **FADED TEXT**
- **ILLEGIBLE TEXT**
- **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- **COLORED PHOTOS**
- **BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS**
- **GRAY SCALE DOCUMENTS**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

THIS PAGE BLANK (USPTO)

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-240648
(43)Date of publication of application : 11.09.1998

(51) Int. Cl. G06F 13/00
G06F 15/00
H04L 12/54
H04L 12/58

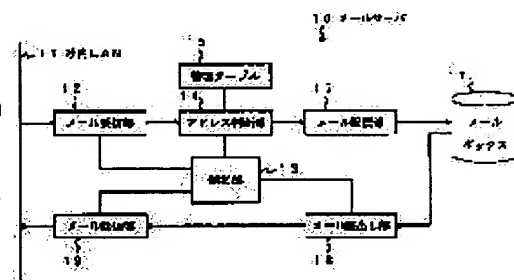
(21)Application number : 09-045544 (71)Applicant : CASIO COMPUT CO LTD
(22)Date of filing : 28.02.1997 (72)Inventor : KUMAKAWA YOSHIO

(54) INFORMATION TRANSMITTER AND RECORDING MEDIUM RECORDING INFORMATION TRANSMISSION PROCESSING PROGRAM

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To eliminate the need of making a transmitter be conscious of the mail address of a transmission destination and to distribute mail data to a desired destination in an electronic mail system for instance in an information transmitter for distributing transmitted information corresponding to a destination address.

SOLUTION: A mail server 10 in the electronic mail system to which this information transmitter is introduced is provided with an address management table 15 for which the description column of a 'department' for instance of the mail data is set as a key word area and respective department names within a company are respectively stored as key words corresponding to the transmission destination addresses. In this case, the matching of the description data of the 'department' read from the key word area of the mail data received in the mail server 10 and key word data stored and managed in the address management table 15 is judged, the transmission destination address is retrieved and the received mail data are distributed to the mail box 17 of the corresponding mail address. Thus, without inputting the transmission destination mail address, the mail data are easily transmitted to the desired destination.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-240648

(43) 公開日 平成10年(1998) 9月11日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	F I
G 0 6 F 13/00	3 5 1	G 0 6 F 13/00
15/00		15/00
H 0 4 L 12/54		H 0 4 L 11/20
12/58		1 0 1 B

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平9-45544

(22) 出願日 平成9年(1997) 2月28日

(71) 出願人 000001443

カシオ計算機株式会社

東京都渋谷区本町1丁目6番2号

(72) 発明者 熊川 善雄

東京都羽村市栄町3丁目2番1号 カシオ

計算機株式会社羽村技術センター内

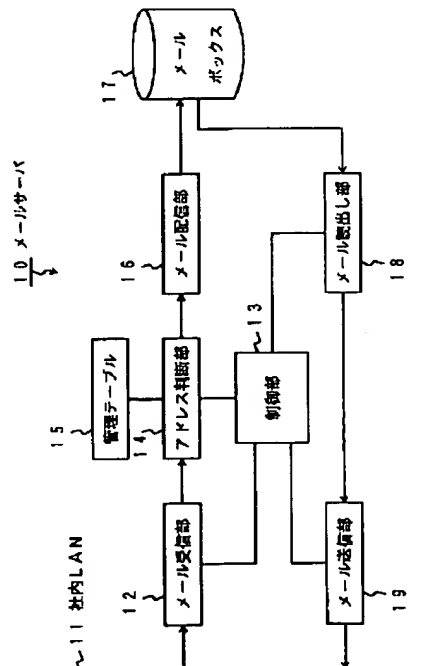
(74) 代理人 弁理士 鈴江 武彦 (外5名)

(54) 【発明の名称】 情報伝達装置、及び情報伝達処理プログラムを記録した記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 発信された情報を宛先アドレスに従って配信するための情報伝達装置にあって、例えば電子メールシステムにおいて、発信者が送信先のメールアドレスを意識する必要なく、所望の宛先にメールデータを配信すること。

【解決手段】 メールデータの、例えば「部署」の記述欄をキーワード領域として設定すると共に、社内の各部署名をキーワードとしてそれぞれその送信先アドレスを対応付けて記憶したアドレス管理テーブル15を備えさせ、メールサーバ10にて受信されたメールデータのキーワード領域から読出された「部署」の記述データと、前記アドレス管理テーブル15において記憶管理されるキーワードデータとの一致を判断してその送信先アドレスを検索し、前記受信メールデータを対応するメールアドレスのメールボックス17に配信する。よって、送信先メールアドレスを入力しなくても、容易に所望の宛先にメールデータを送信できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 キー情報に対応して送信先のアドレスを記憶するアドレス記憶手段と、
情報を入力する情報入力手段と、
この情報入力手段により入力された情報の中からキー情報を抽出するキー情報抽出手段と、
このキー情報抽出手段により抽出されたキー情報に対応する送信先のアドレスを前記アドレス記憶手段から取出すアドレス取出し手段と、
このアドレス取出し手段により取出された送信先のアドレスに従って前記情報入力手段により入力された情報を送信する送信手段とを具備したことを特徴とする情報伝達装置。

【請求項2】 前記アドレス記憶手段は、キーワードに対応して送信先のアドレスを記憶するアドレス記憶手段であり、
前記キー情報抽出手段は、前記情報入力手段により入力された情報の所定の位置に記述されたキーワードを抽出するキーワード抽出手段であり、
前記アドレス取出し手段は、前記キーワード情報抽出手段により抽出されたキーワードに対応する送信先のアドレスを前記アドレス記憶手段から取出すアドレス取出し手段であることを特徴とする請求項1に記載の情報伝達装置。

【請求項3】 情報作成用のテンプレートの種類に対応して送信先のアドレスを記憶するアドレス記憶手段と、
テンプレートを利用して情報を入力する情報入力手段と、
この情報入力手段により入力された情報のテンプレートの種類を判断するテンプレート判断手段と、
このテンプレート判断手段により判断されたテンプレートの種類に対応する送信先のアドレスを前記アドレス記憶手段から取出すアドレス取出し手段と、
このアドレス取出し手段により取出された送信先のアドレスに従って前記情報入力手段により入力された情報を送信する送信手段とを具備したことを特徴とする情報伝達装置。

【請求項4】 コンピュータを、
キー情報に対応して送信先のアドレスを記憶するアドレス記憶手段、
入力された情報の中からキー情報を抽出するキー情報抽出手段、
前記キー情報抽出手段により抽出されたキー情報に対応する送信先のアドレスを前記アドレス記憶手段により記憶したデータの中から取出すアドレス取出し手段、
前記アドレス取出し手段により取出された送信先のアドレスに従って前記入力された情報を送信する送信手段、
として機能させるための情報伝達処理プログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、電子メールシステム等、発信された情報を宛先アドレスに従って配信するための情報伝達装置、及び情報伝達処理プログラムを記録した記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】一般に、電子メールシステムでは、発信者は、メールの内容を記述したメールデータに対して、宛先である送信先のアドレスを付加して、送信の操作を行なう必要がある。

【0003】これにより、メールサーバでは、受信されたメールデータに記述されている送信先のアドレスを判断し、対応する宛先のメールボックスにそのメールデータを配信し格納している。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前記従来の電子メールシステムのように、発信すべきメールデータのそれぞれに対して、いちいちその送信先のアドレスを付加するのは非常に面倒であり、しかも、例えば送信先のアドレスの変更が発信者に知らされていなかった場合、メールの送信が行えない等の問題がある。

【0005】本発明は、前記のような問題に鑑みなされたもので、例えば電子メールシステムにおいて、発信者が送信先のメールアドレスを意識する必要なく、所望の宛先にメールデータを配信することが可能になる情報伝達装置、及び情報伝達処理プログラムを記録した記録媒体を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】すなわち、本発明の請求項1に係わる情報伝達装置は、キー情報に対応して送信先のアドレスを記憶するアドレス記憶手段と、情報を入力する情報入力手段と、この情報入力手段により入力された情報の中からキー情報を抽出するキー情報抽出手段と、このキー情報抽出手段により抽出されたキー情報に対応する送信先のアドレスを前記アドレス記憶手段から取出すアドレス取出し手段と、このアドレス取出し手段により取出された送信先のアドレスに従って前記情報入力手段により入力された情報を送信する送信手段とを具備したことを特徴とする。

【0007】つまり、本発明の請求項1に係わる情報伝達装置では、情報入力手段により情報を入力すると、入力された情報の中からキー情報が抽出され、この抽出されたキー情報に対応する送信先のアドレスが、キー情報に対応して送信先のアドレスを記憶しているアドレス記憶手段から取出され、この取出された送信先のアドレスに従って前記入力された情報が送信されるので、例えば発信する情報に記述された特定の単語や熟語をキー情報として、対応する送信アドレスが自動検索されて送信されることになる。

【0008】また、本発明の請求項2に係わる情報伝達

装置は、本発明の請求項1に係わる情報伝達装置にあって、前記アドレス記憶手段を、キーワードに対応して送信先のアドレスを記憶するアドレス記憶手段とし、前記キー情報抽出手段を、前記情報入力手段により入力された情報の所定の位置に記述されたキーワードを抽出するキーワード抽出手段とし、前記アドレス取出し手段を、前記キーワード情報抽出手段により抽出されたキーワードに対応する送信先のアドレスを前記アドレス記憶手段から取出すアドレス取出し手段としたことを特徴とする。

【0009】つまり、本発明の請求項2に係わる情報伝達装置では、情報入力手段により情報を入力すると、入力された情報の所定の位置に記述されたキーワードが抽出され、この抽出されたキーワードに対応する送信先のアドレスが、キーワードに対応して送信先のアドレスを記憶しているアドレス記憶手段から取出され、この取出された送信先のアドレスに従って前記入力された情報が送信されるので、例えば発信する情報の特定位置に記述された部署名や住所をキーワードとして、対応する送信アドレスが自動検索されて送信されることになる。

【0010】また、本発明の請求項3に係わる情報伝達装置は、情報作成用のテンプレートの種類に対応して送信先のアドレスを記憶するアドレス記憶手段と、テンプレートを利用して情報を入力する情報入力手段と、この情報入力手段により入力された情報のテンプレートの種類を判断するテンプレート判断手段と、このテンプレート判断手段により判断されたテンプレートの種類に対応する送信先のアドレスを前記アドレス記憶手段から取出すアドレス取出し手段と、このアドレス取出し手段により取出された送信先のアドレスに従って前記情報入力手段により入力された情報を送信する送信手段とを具備したことを特徴とする。

【0011】つまり、本発明の請求項3に係わる情報伝達装置では、情報入力手段によりテンプレートを利用して情報を入力すると、入力された情報のテンプレートの種類が判断され、この判断されたテンプレートの種類に対応する送信先のアドレスが、情報作成用のテンプレートの種類に対応して送信先のアドレスを記憶しているアドレス記憶手段から取出され、この取出された送信先のアドレスに従って前記入力された情報が送信されるので、例えば発信する情報フォーマットの作成元である届出書等のテンプレートの種類をキー情報として、対応する送信アドレスが自動検索されて送信されることになる。

【0012】また、本発明の請求項4に係わる情報伝達処理プログラムを記録した記録媒体は、コンピュータを、キー情報に対応して送信先のアドレスを記憶するアドレス記憶手段、入力された情報の中からキー情報を抽出するキー情報抽出手段、前記キー情報抽出手段により抽出されたキー情報に対応する送信先のアドレスを前記

アドレス記憶手段により記憶したデータの中から取出すアドレス取出し手段、前記アドレス取出し手段により取出された送信先のアドレスに従って前記入力された情報を送信する送信手段として機能させることを特徴とする。

【0013】つまり、本発明の請求項4に係わる情報伝達処理プログラムを記録した記録媒体によって、例えば電子メールシステムのネットワークに接続されている端末コンピュータあるいはメールサーバに情報伝達処理プログラムを読込ませることで、該端末コンピュータあるいはメールサーバでは、入力された情報の中からキー情報が抽出され、この抽出されたキー情報に対応する送信先のアドレスが、アドレス記憶手段によりキー情報に対応して送信先のアドレスを記憶した記憶データの中から取出され、この取出された送信先のアドレスに従って前記入力された情報が送信されるので、ネットワーク中のあらゆる端末コンピュータあるいはメールサーバにおいて、例えば発信する情報に記述された特定の単語や熟語をキー情報として、対応する送信アドレスが自動検索されて送信されることになる。

【0014】

【発明の実施の形態】以下図面により本発明の実施の形態について説明する。

（第1実施形態）図1は本発明の第1実施形態に係わる情報伝達装置を導入した電子メールシステムにおけるメールサーバ10の構成を示すブロック図である。

【0015】本実施形態では、社内LAN（Local Area Network）11を用いて構築された電子メールシステムを対象として説明する。社内のコンピュータ端末から社内LAN11を介してメールサーバ10のメール受信部12に受信されたデータは、送信メールデータかメール読出し要求かが制御部13により判断される。

【0016】メール受信部12に受信されたデータが、送信メールデータである場合には、このメールデータの宛先アドレスが、アドレス判断部14においてアドレス管理テーブル15に基づき判断される。

【0017】図2は本発明の第1実施形態に係わる情報伝達装置を導入した電子メールシステムのメールサーバ10におけるアドレス管理テーブル15のテーブルデータを示す図である。

【0018】このアドレス管理テーブル15には、本電子メールシステムを構築した社内LAN11の各コンピュータ端末が設置されている全ての部署をそれぞれキーワードとして、各部署毎のメールアドレスが対応付けられて記憶される。

【0019】図3は本発明の第1実施形態に係わる情報伝達装置を導入した電子メールシステムにて利用されるメールデータ20の一例を示す図である。この第1実施形態におけるメールデータのメールフォーマットには、当該メールデータの宛先である「部署」の記述欄がキー

ワード領域20aとして設定される。

【0020】すなわち、前記メール受信部12に受信されたデータが、制御部13により送信メールアドレスであると判断された場合には、アドレス判断部14において、受信メールアドレス20におけるキーワード領域20aに記述された部署名が抽出され、前記アドレス管理テーブル15にて管理されるテーブルデータに従って送信先のアドレスが判断される。

【0021】すると、前記アドレス判断部14により判断された送信先のアドレスが受信メールアドレスと共にメール配信部16に与えられ、当該受信メールアドレスが送信先アドレスのメールボックス17に格納される。

【0022】メールボックス17に格納された宛先毎のメールアドレスは、メール受信部12に受信されたデータが制御部13によりメール読出し要求であると判断された際に、該当する宛先からの読出し要求に従って、メール読出し部18により対応するメールアドレスが読出され、メール送信部19を介して読出し要求されたコンピュータ端末宛てに送信される。

【0023】前記電子メールシステムにおけるメールサーバ10は、図4に示すコンピュータシステムとして構成することができる。このメールサーバ10のコンピュータシステムには、CPU21が備えられる。

【0024】CPU21は、通信装置22を介して受信されるメールアドレスやメール読出し要求等に応じて、記憶装置23に予め記憶されているシステムプログラムデータ、あるいは記憶媒体23aから記憶装置23に読取られたプログラムデータ、あるいは通信装置22に受信されて記憶装置23に格納されたプログラムデータを起動させ、システム各部の動作を制御する。

【0025】前記CPU21には、前記通信装置22、記憶装置23が接続される他に、RAM24、メールファイル装置25が接続される。このようなコンピュータシステムにあって、前記図1において示したメールサーバ10におけるメール受信部12、メール送信部19は、通信装置22を中心として機能し、また、メール配信部16、メール読出し部18、メールボックス17は、メールファイル装置25を中心として機能し、アドレス管理テーブル15は、RAM24を中心として機能する。さらに、制御部13及びアドレス判断部14は、記憶装置23及びCPU21を中心として機能する。

【0026】そして、前記通信装置22、メールファイル装置25、RAM24における各種の機能は、記憶装置23から読み出されるプログラムデータに従ってCPU21により制御される。

【0027】次に、前記構成による本発明の第1実施形態に係わる情報伝達装置を導入した電子メールシステムの動作について説明する。図5は本発明の第1実施形態に係わる情報伝達装置を導入した電子メールシステムにおけるメール配信処理を示すフローチャートである。

【0028】例えば社内のある部署から送信されたメールアドレス20が、社内LAN11を介してメール受信部12に受信されると、制御部13により受信されたメールアドレス20の記述がサーチされ、キーワード領域20aが有るか否か、つまり、「部署」の欄が有るか否かがサーチされて判断される（ステップS1、S2、S3）。

【0029】ここで、前記メール受信部12に受信されたメールアドレス20にキーワード領域20a（「部署」）が有ると判断されると、さらに、当該キーワード領域20a内にキーワードデータが有るか否かが判断される（ステップS3→S4）。

【0030】そして、受信されたメールアドレス20のキーワード領域20aに対してキーワードデータが、例えば「OPS企画部」として記述されて有ると判断されると、該キーワードデータ「OPS企画部」が抽出されてRAM24内のワークレジスタ（1）に記憶される（ステップS4→S5）。

【0031】すると、アドレス判断部14によりアドレス管理テーブル15（図2参照）が読出されてキーワード欄の指示ポインタが先頭位置“1”に初期化され、該ポインタ“1”により指示された第1のキーワードデータ「システム営業部」が読出されてRAM24内のワークレジスタ（2）に記憶される（ステップS6、S7、S8）。

【0032】ここで、前記RAM24内のワークレジスタ（1）に記憶されたメールアドレス20のキーワード領域20aに記述されているキーワードデータ「OPS企画部」と前記RAM24内のワークレジスタ（2）に記憶されたアドレス管理テーブル15から読出された第1のキーワードデータ「システム営業部」との一致不／一致が判断される（ステップS9）。

【0033】この場合、メールアドレスから読出されたキーワード「OPS企画部」とアドレス管理部15に対しポインタ指示されたキーワード「システム営業部」とが不一致として判断されると、前記アドレス管理テーブル15に対するキーワード指示ポインタが“2”に更新され、該ポインタで指示されたキーワードが終了したか否かが判断される（ステップS9→S10、S11）。

【0034】この場合、前記アドレス管理テーブル15に対するキーワード指示ポインタは“2”であり、該ポインタ“2”で指示されたキーワードは終了していないと判断されると、対応する第2のキーワード「OPS企画部」が読出されてRAM24内のワークレジスタ（2）に新たに記憶される（ステップS11→S8）。

【0035】これにより、前記RAM24内のワークレジスタ（1）に記憶されたメールアドレス20のキーワード領域20aに記述されているキーワードデータ「OPS企画部」と前記RAM24内のワークレジスタ（2）に新たに記憶されたアドレス管理テーブル15から読出された第2のキーワードデータ「OPS企画部」との一

致が判断されると、当該アドレス管理テーブル15の一致キーワード「OPS企画部」に対応して管理されている送信先アドレスが読出され、メール配信部16にセットされる(ステップS9→S15、S13)。

【0036】すると、前記受信された「OPS企画部」宛てのメールアドレスが、対応するメールアドレスのメールボックス17に配信されて格納される(ステップS14)。

【0037】これにより、発信者がメールアドレスの発信に際しメールアドレスを入力して付加する必要はなく、メールアドレスが受信されるとその「部署名」がキーワードとしてメールアドレスが検索され、対応するメールアドレスのメールボックス17に配信されるようになる。

【0038】一方、前記メール受信部12に受信されたメールアドレス内に、キーワード領域20aが存在しないと判断された場合(ステップS3→S12)、又は、キーワード領域20aは存在していても該キーワード領域20a内に「部署名」であるキーワードが記述されていないと判断された場合(ステップS4→S12)、又は、前記キーワード領域20aから読出されたキーワードデータに対して、アドレス管理テーブル15にて管理される全てのキーワードが不一致であると判断された場合(ステップS11→S12)には、メールアドレスの発信者であるコンピュータ端末に対して、メール送信部19から送信先入力要求が送信される(ステップS12)。

【0039】この送信先の入力要求に回答してメール送信先のアドレスデータが受信されると、該アドレスデータがメール配信部16にセットされ、受信メールアドレスは対応するメールアドレスのメールボックス17に配信されて格納される(ステップS13、S14)。

【0040】したがって、前記構成の本発明の第1実施形態に係わる情報伝達装置を導入した電子メールシステムによれば、メールアドレス20の、例えば「部署」の記述欄をキーワード領域20aとして設定すると共に、社内の各部署名をキーワードとしてそれぞれその送信先アドレスを対応付けて記憶したアドレス管理テーブル15を備えさせ、メールサーバ10にて受信されたメールアドレスのキーワード領域20aから読出された「部署」の記述データと、前記アドレス管理テーブル15において記憶管理されるキーワードデータとの一致を判断してその送信先アドレスを検索し、前記受信メールアドレスを対応するメールアドレスのメールボックス17に配信する構成としたので、メールアドレスを発信する際に、その送信先のメールアドレスを入力して付加しなくても、容易に所望の宛先にメールアドレスを送信できるようになる。

【0041】なお、本第1実施形態では、メールアドレスの所定の領域、つまり、部署名の記述領域をキーワード領域20aとして設定し、この所定のキーワード領域20aから抽出したキーワードに基づき、アドレス管理テーブル15にて管理されるキーワード対応の送信先アド

レスを検索する構成としたが、次の第2実施形態で説明するように、メールアドレスの文中に存在する漢字の熟語をキーワードとし、対応するメールアドレスを管理テーブルより検索する構成としてもよい。

【0042】(第2実施形態)この第2実施形態におけるアドレス管理テーブル15には、例えば「発明」という熟語に対して「特許部」のメールアドレス、「売上」という熟語に対して「営業部」のメールアドレス、「試作」という熟語に対して「開発部」のメールアドレスと、様々な漢字の熟語にそれぞれ関係の深い部署のメールアドレスが対応付けられて記憶される。

【0043】図6は本発明の第2実施形態に係わる情報伝達装置を導入した電子メールシステムにおけるメール配信処理を示すフローチャートである。例えば社内のある部署から送信されたメールアドレス20が、社内LAN11を介してメール受信部12に受信されると、制御部13により受信されたメールアドレス20の記述が先頭からサーチされ、その文中に含まれる漢字の熟語が順次読出される(ステップA1、A2)。

【0044】ここで、受信メールアドレスのサーチにより読出された熟語と一致する熟語が、前記アドレス管理テーブル15内に存在すると判断された場合には、対応する送信先のメールアドレスが読出されてメール配信部16にセットされる(ステップA3→A8、A6)。

【0045】すると、前記受信されたメールアドレスが、対応するメールアドレスのメールボックス17に配信されて格納される(ステップA7)。一方、受信されたメールアドレスにおける文中からサーチされた全ての漢字の熟語それぞれについて、アドレス管理テーブル15において予め記憶されているキーワードとしての何れの熟語にも一致しないと判断された場合には、メールアドレスの発信者であるコンピュータ端末に対して、メール送信部19から送信先入力要求が送信される(ステップA2、A3→A4→A5)。

【0046】この送信先の入力要求に回答してメール送信先のアドレスデータが受信されると、該アドレスデータがメール配信部16にセットされ、受信メールアドレスは対応するメールアドレスのメールボックス17に配信されて格納される(ステップA6、A7)。

【0047】これにより、発信者がメールアドレスの発信に際しメールアドレスを入力して付加する必要はなく、メールアドレスが受信されるとその文中に含まれる漢字の熟語がキーワードとしてメールアドレスが検索され、対応するメールアドレスのメールボックス17に配信されるようになる。

【0048】また、次の第3実施形態で説明するように、メールアドレス作成の際の雛形となるテンプレートの種類をキー情報として、対応するメールアドレスを検索する構成としてもよい。

【0049】(第3実施形態)図7は本発明の第3実施

形態に係わる情報伝達装置を導入した電子メールシステムにおいて使用されるテンプレートのフォーマットを示す図であり、同図(A)は「改善提案書」のフォーマットを示す図、同図(B)は「特許提案書」のフォーマットを示す図、同図(C)は「身上移動書」のフォーマットを示す図である。

【0050】この第3実施形態におけるアドレス管理テーブル15には、例えば「改善提案書」というテンプレートに対して「総務部Aさん」のメールアドレス、「特許提案書」というテンプレートに対して「特許部受付担当者」のメールアドレス、「身上移動書」というテンプレートに対して「人事部Bさん」のメールアドレス、「車両使用願」というテンプレートに対して「総務部C」さんのメールアドレスというように、様々なテンプレートのそれぞれに対してその届出先部署担当者のメールアドレスが対応付けられて記憶される。

【0051】図8は本発明の第3実施形態に係わる情報伝達装置を導入した電子メールシステムにおけるメール配信処理を示すフローチャートである。例えば社内のある部署から送信されたメールアドレス20が、社内LAN11を介してメール受信部12に受信されると、そのメールアドレスのフォーマットが、社内で予め定められた特定のメールに対応するフォーマットであるか否か判断される(ステップB1、B2)。

【0052】ここで、受信メールアドレスは社内ですでに定められた特定のメールフォーマットであると判断されると、その特定フォーマットからなるメールアドレスのテンプレートが判断され、前記テンプレートに対応するメールアドレスが記憶されているアドレス管理テーブル15から、対応するメールアドレスが読出され、メール配信部16にセットされる(ステップB2→B3、B4、B5)。

【0053】すると、前記受信されたメールアドレスが、対応するメールアドレスのメールボックス17に配信されて格納される(ステップB6)。すなわち、社内のあるコンピュータ端末から、例えば図7(A)に示すような「改善提案書」のメールが送信されると、アドレス管理テーブル15からその届出先である「総務部Aさん」のメールアドレスが検索されて配信されるようになる。

【0054】一方、前記メール受信部12に受信されたメールアドレスが社内ですでに定められた特定のメールフォーマットではないと判断された場合には、メールアドレスの発信者であるコンピュータ端末に対して、メール送信部19から送信先入力要求が送信される。そして、この送信先の入力要求に回答してメール送信先のアドレスデータが受信されると、該アドレスデータがメール配信部16にセットされ、受信メールアドレスは対応するメールアドレスのメールボックス17に配信されて格納される(ステップB2→B7、B5、B6)。

【0055】これにより、発信者がメールアドレスの発信

に際しメールアドレスを入力して付加する必要はなく、特定フォーマットのメールデータが受信されるとテンプレートの種類がキーワードとしてメールアドレスが検索され、対応するメールアドレスのメールボックス17に配信されるようになる。

【0056】なお、前記各実施形態では、送信先のメールアドレスが付加されないメールデータが発信され、メールサーバ10に受信された際に、当該メールサーバ10においてアドレス管理テーブル15に従って受信メールアドレスに対応するメールアドレスを検索して配信する構成としたが、前記アドレス管理テーブル15を各端末側に持たせ、前記同様の処理により、端末におけるメール発信に際して自動的にメールアドレスが検索されて付加される構成としてもよい。

【0057】なお、前記実施形態において記載した手法、すなわち図5のフローチャートに示す第1実施形態のメール配信処理、図6のフローチャートに示す第2実施形態のメール配信処理、図8のフローチャートに示す第3実施形態のメール配信処理等の各手法は、コンピュータに実行させることができるプログラムとして、記憶媒体23aに記録して配布することできる。記憶媒体23aとしては、メモリカード(ROMカード、RAMカード等)、磁気ディスク(フロッピーディスク、ハードディスク等)、光ディスク(CD-ROM、DVD等)、半導体メモリ等を利用でき、記憶装置23に固定的、もしくは着脱自在に設けることができる。そして、コンピュータは、この記憶媒体23aに記録されたプログラムを記憶装置23によって読み込み、この読み込んだプログラムによって動作が制御されることにより、前記実施形態において説明した各機能を実現し、前述した手法による同様の処理を実行することができる。

【0058】

【発明の効果】以上のように、本発明の請求項1に係わる情報伝達装置によれば、情報入力手段により情報を入力すると、入力された情報の中からキー情報が抽出され、この抽出されたキー情報に対応する送信先のアドレスが、キー情報に対応して送信先のアドレスを記憶しているアドレス記憶手段から取出され、この取出された送信先のアドレスに従って前記入力された情報が送信されるので、例えば発信する情報に記述された特定の単語や熟語をキー情報として、対応する送信アドレスが自動検索されて送信されるようになる。

【0059】また、本発明の請求項2に係わる情報伝達装置によれば、情報入力手段により情報を入力すると、入力された情報の所定の位置に記述されたキーワードが抽出され、この抽出されたキーワードに対応する送信先のアドレスが、キーワードに対応して送信先のアドレスを記憶しているアドレス記憶手段から取出され、この取出された送信先のアドレスに従って前記入力された情報が送信されるので、例えば発信する情報の特定位置に記

述された部署名や住所をキーワードとして、対応する送信アドレスが自動検索されて送信されるようになる。

【0060】また、本発明の請求項3に係わる情報伝達装置によれば、情報入力手段によりテンプレートを利用して情報を入力すると、入力された情報のテンプレートの種類が判断され、この判断されたテンプレートの種類に対応する送信先のアドレスが、情報作成用のテンプレートの種類に対応して送信先のアドレスを記憶しているアドレス記憶手段から取出され、この取出された送信先のアドレスに従って前記入力された情報が送信されるので、例えば発信する情報フォーマットの作成元である届出書等のテンプレートの種類をキー情報として、対応する送信アドレスが自動検索されて送信されるようになる。

【0061】また、本発明の請求項4に係わる情報伝達処理プログラムを記録した記録媒体によって、例えば電子メールシステムのネットワークに接続されている端末コンピュータあるいはメールサーバに情報伝達処理プログラムを読込ませることで、該端末コンピュータあるいはメールサーバでは、入力された情報の中からキー情報が抽出され、この抽出されたキー情報に対応する送信先のアドレスが、アドレス記憶手段によりキー情報に対応して送信先のアドレスを記憶した記憶データの中から取出され、この取出された送信先のアドレスに従って前記入力された情報が送信されるので、ネットワーク中のあらゆる端末コンピュータあるいはメールサーバにおいて、例えば発信する情報に記述された特定の単語や熟語をキー情報として、対応する送信アドレスが自動検索されて送信されるようになる。

【0062】よって、例えば電子メールシステムにおいて、発信者が送信先のメールアドレスを意識する必要なく、所望の宛先にメールデータを配信することが可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施形態に係わる情報伝達装置を導入した電子メールシステムにおけるメールサーバの構成を示すブロック図。

【図2】本発明の第1実施形態に係わる情報伝達装置を導入した電子メールシステムのメールサーバにおけるアドレス管理テーブルのテーブルデータを示す図。

【図3】本発明の第1実施形態に係わる情報伝達装置を

導入した電子メールシステムにて利用されるメールアドレスの一例を示す図。

【図4】前記電子メールシステムにおけるメールサーバを構成するコンピュータシステムを示すブロック図。

【図5】本発明の第1実施形態に係わる情報伝達装置を導入した電子メールシステムにおけるメール配信処理を示すフローチャート。

【図6】本発明の第2実施形態に係わる情報伝達装置を導入した電子メールシステムにおけるメール配信処理を示すフローチャート。

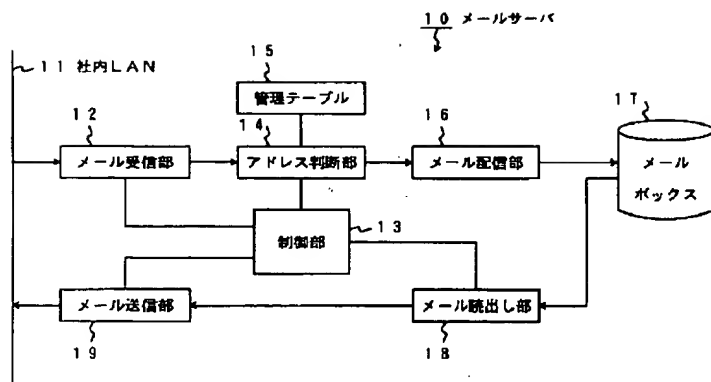
【図7】本発明の第3実施形態に係わる情報伝達装置を導入した電子メールシステムにおいて使用されるテンプレートのフォーマットを示す図であり、同図(A)は「改善提案書」のフォーマットを示す図、同図(B)は「特許提案書」のフォーマットを示す図、同図(C)は「身上移動書」のフォーマットを示す図。

【図8】本発明の第3実施形態に係わる情報伝達装置を導入した電子メールシステムにおけるメール配信処理を示すフローチャート。

【符号の説明】

- 10 …メールサーバ、
- 11 …社内LAN、
- 12 …メール受信部、
- 13 …制御部、
- 14 …アドレス判断部、
- 15 …アドレス管理テーブル、
- 16 …メール配信部、
- 17 …メールボックス、
- 18 …メール取出し部、
- 19 …メール送信部、
- 20 …メールアドレス、
- 21 …CPU、
- 22 …通信装置、
- 23 …記憶装置、
- 23a …記憶媒体、
- 24 …RAM、
- 25 …メールファイル装置、
- 26 …改善提案書、
- 27 …特許提案書、
- 28 …身上移動書。

【図1】



【図2】

キーワード	送信先
システム営業部	hamana@oa.info
OP S企画部	kumaka@oa.info
未一企画部	toyooka@oa.info ...

【図6】

【図3】

メール 20

問題点連絡書

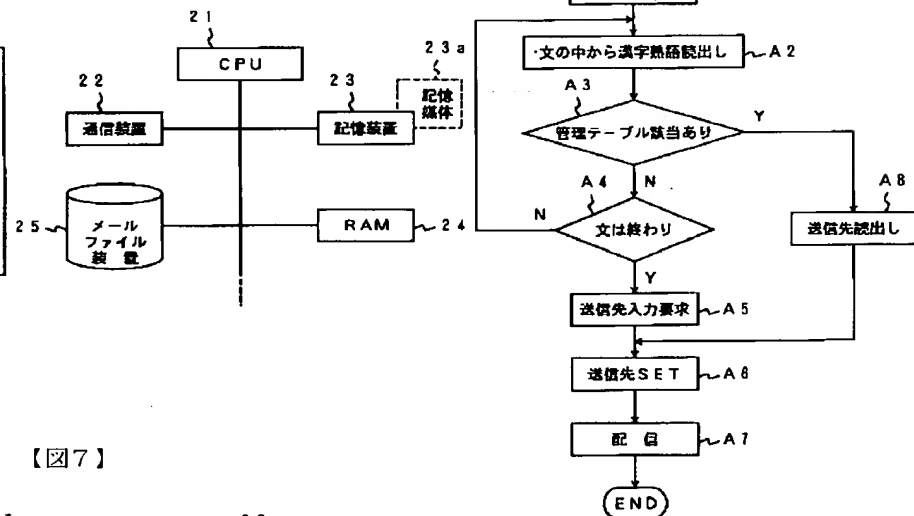
○日付: _____

○部署: _____

○内容: _____

20a キーワード領域

【図4】



【図7】

26 改善提案書

氏名: _____

内容: _____

(A)

27 特許提案書

氏名: _____

発明タイトル: _____

目的: _____

内容: _____

効果: _____

(B)

28 身上移動書

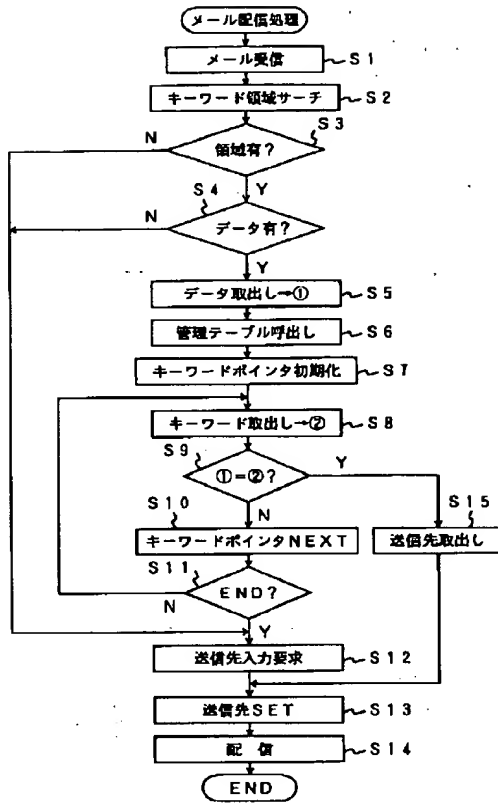
氏名: _____

住所: _____

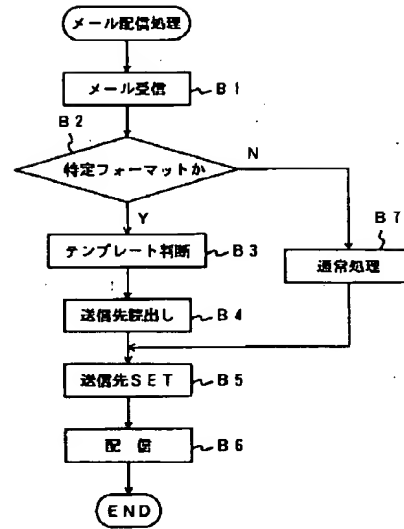
家族構成: _____

(C)

【図5】



【図8】



Application No. 09/123,456

Inventor: John A. Doe

Attorney: Jane Smith

Filed: 12/15/2000

Pub. No.: 2001/0123456

Pub. Date: 06/15/2001

Int. Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

IPC Class. No.: 01/123,456

THIS PAGE BLANK (USPTO)